

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

愛媛県 西条市

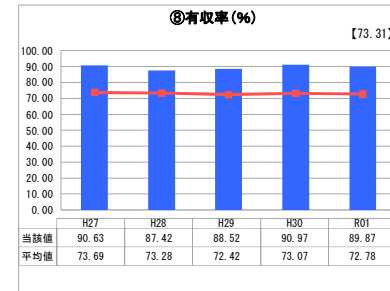
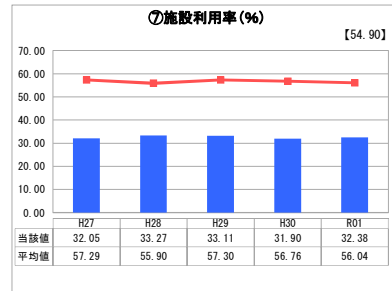
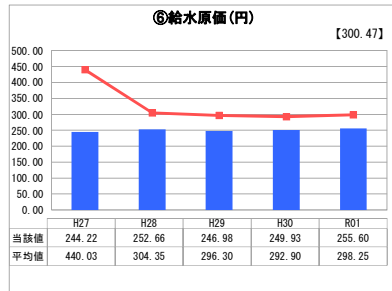
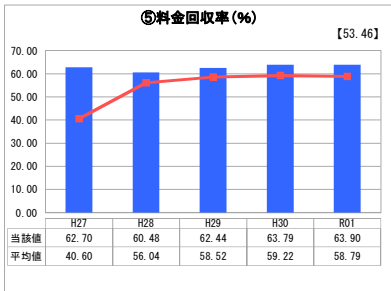
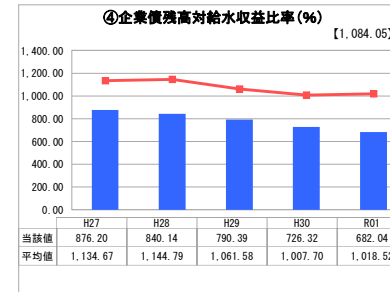
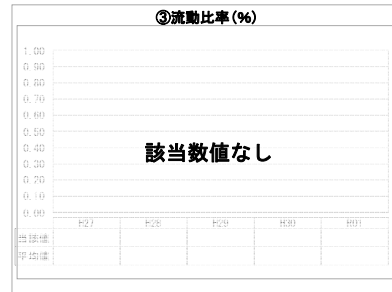
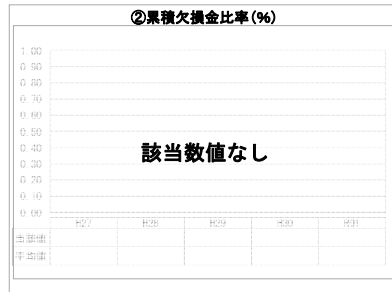
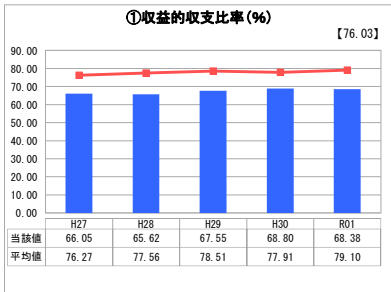
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	4.82	2,893	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
108,961	510.04	213.63
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,387	11.99	282.49

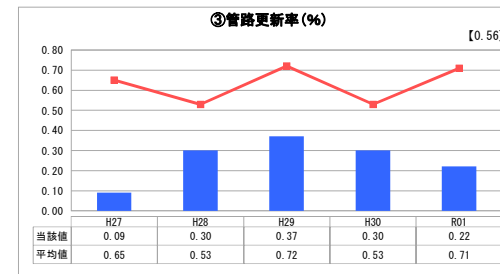
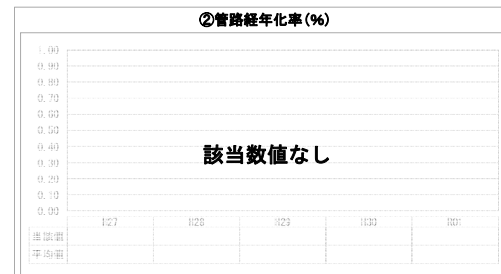
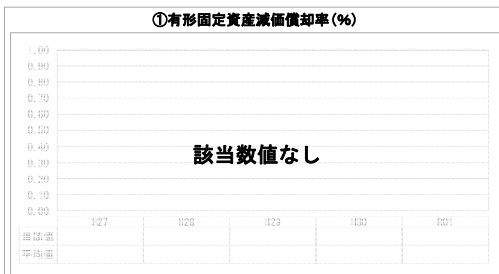
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、100%を大きく下回っており、類似団体と比較しても低い水準にある。経営に必要な収益を確保できていないため、収支の不足分は一般会計からの繰入金により補填している。平成30年度に西条地区の料金改定を行ったため、改善が見られる。

本市は良質な地下水が豊富で、高度な浄水施設等が不要なため、⑥給水原価が類似団体に比べて低く抑えられている。そのため、⑤料金回収率は類似団体と比較して良好であるが、100%を大きく下回っており、給水に係る費用を料金から回収できていない状況である。

⑧有収率については、類似団体に比べ、高い水準を保つことができています。

④企業債残高対給水収益比率については改善が見られる。これは、近年、大規模な更新を行っておらず、企業債残高が減少傾向にあるためである。類似団体平均値と比べて低い数値ではあるが、企業債に依存した経営となっている。

⑦施設利用率については、類似団体と比較して低水準である。今後は給水人口の減少による低下も予想されているため、ダウンサイジングや施設の統合も視野に入れた計画を立てる必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

③管路更新率は類似団体と比較して低い水準にあるが、⑧有収率が高い水準を維持していることから必要な更新は行われていることが分かる。

現在は、限られた財源の中で、老朽化施設のうち、優先順位の高いものから適宜更新を行っている。

### 全体総括

簡易水道事業は、上水道事業と同じ料金水準としているが、経営効率が悪く、料金収入のみで経営の健全性を確保することは困難な事業である。

そのため、企業債や一般会計からの繰入金に大きく依存している。特に一般会計からの繰入金については、水道利用者以外にも負担を強いることになっており、負担の公平性の観点から望ましい状況ではなく、経営の改善が必要である。

今後、人口が減少し、施設利用率も低下していく中で、簡易水道事業の経営を単独で維持することはより困難な状況になると判断し、令和3年度に上水道事業等との経営統合を予定している。